

みずほCustomer Desk Report 2019/07/11 号(As of 2019/07/10)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.01
TKY 9:00AM	108.93	1.1204	122.05	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	108.99	1.1264	122.31	1.2455	0.6925
SYD-NY Low	108.35	1.1202	121.99	1.2521	0.6969
NY 5:00 PM	108.47	1.1250	122.03	1.2445	0.6911
NY DOW	26,860.20	76.71	日本2年債	-0.1900	1.00bp
NASDAQ	8,202.53	60.80	日本10年債	-0.1300	2.00bp
S&P	2,993.07	13.44	米国2年債	1.8267	▲9.02bp
日経平均	21,533.48	▲31.67	米国5年債	1.8268	▲6.12bp
TOPIX	1,571.32	▲3.57	米国10年債	2.0604	▲1.05bp
シカゴ日経先物	21,545	30	独10年債	-0.3075	4.75bp
ロンドンFT	7,530.69	▲5.78	英10年債	0.7570	3.85bp
DAX	12,373.41	▲63.14	豪10年債	1.3385	1.60bp
ハンセン指数	28,204.69	88.41	USDJPY 1M Vol	5.49	▲0.14%
上海総合	2,915.30	▲12.93	USDJPY 3M Vol	5.72	▲0.03%
NY金	1,412.50	12.00	USDJPY 6M Vol	5.99	▲0.04%
WTI	60.43	2.60	USDJPY 1M 25RR	-0.95	Yen Call Over
CRB指数	184.17	3.46	EURJPY 3M Vol	5.88	▲0.10%
ドルインデックス	97.10	▲0.39	EURJPY 6M Vol	6.31	▲0.14%

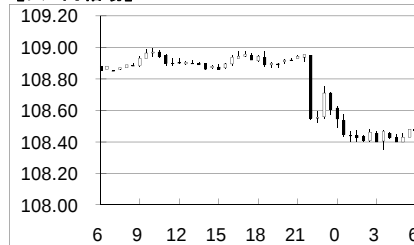
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月10日	10:30	中 CPI/PPI(前年比)	6月 2.7%/0.0%	2.7%/0.2%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)・雑報	5月 0.4%	0.4%
	23:00	パウエルFRB議長 下院議会証言 「6月の雇用統計受けても景気見通しを根本的に変えず」		
7月11日	02:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 「0.25%の利下げが望ましい、0.5%は行き過ぎ」		
	03:00	米 FOMC議事要旨 : リスク上昇により、多くのメンバーがより強い利下げの根拠を認識		

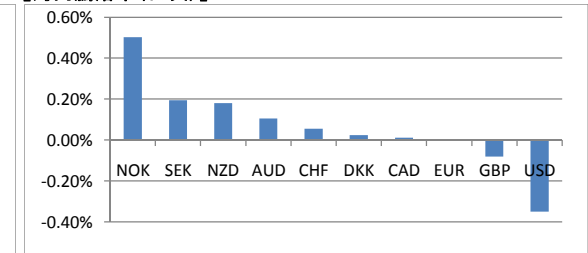
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月11日	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	6月 0.0%/1.6%	0.1%/1.8%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	6月 0.2%/2.0%	0.1%/2.0%
	23:00	米 パウエルFRB議長 上院議会証言		
7月12日	00:10	米 ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁 講演		
	01:15	米 ボスティブ・アトランタ連銀総裁 講演		
	01:30	米 パーキン・リッチモンド連銀総裁 講演		
	06:00	米 カシカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.80-108.60	1.1190-1.1290	121.30-122.30

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は下落した。下院議会証言を控え、パウエルFRB議長の事前原稿で金融緩和施策への用意があることを示唆されたことを受け、米利下げ期待が高まりドル売りが先行、議会証言もハト派寄りの内容となり、ドル円は108.90台から108.40台まで下落。午後には発表された6月会合のFOMC議事録も利下げの論拠が強まったと判断したとする内容であったことからドル売りが継続、一時108.35まで下落した。

本日のドル円は下落推移を予想。前日からの流れを引き継ぎ、米利下げへの期待からドル売り地合となろう。ドル円の下落圧力が強い展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は108.93レベルでスタートし、日経平均株価が堅調に推移すると、仲値にかけて上昇し、9日の高値を上抜けて108.99を付けた。しかし109円台出現には至らず、日本株が上げ幅を縮小する展開を受けてドル円も押し戻されると、その後は方向感なく推移。108.90レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.90レベルでオープン。パウエルFRB議長の議会証言を控え、108.87から108.97の小幅なレンジで推移。108.94レベルでNYに渡った。ポンドは1.2446レベルでオープン。9日、議会閉鎖阻止の修正動議が賛成294、反対293とわずかに票差で可決。これにより、離脱期限10月31日を挟み、9月から12月の議会の開会が義務付けられ、「議会閉鎖による合意なき離脱の強硬」が回避されるため、ポンドに買戻しの動き。一時1.2495まで買われ、1.2471レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	パウエルFRB議長の議会証言を控え、海外市場のドル円は108.85～99での狭いレンジでの様子見が続き、108.94レベルでNYオープン。NY朝方はパウエル議長の事前原稿が8時半に発表され、利下げの用意があることを示唆する内容であったことから、先週金曜の雇用統計以来買戻し戻されたいドルが再び売り戻される展開に、ドル円は108.67まで下落する。その後10時から10時の議会証言を控え、ドル売りが継続し108.52まで下落。その後108.75まで戻す局面もあったものの、6月の雇用統計結果を受けて見通しを変えたのかとの質問には「変えていない」とし、6月の会合以来残念な内容の指標が多かったことに触れ、貿易摩擦で先行き不透明感から企業投資が弱くなってきていることに言及するなどハト派な発言が目立ちドル円は、108.49まで下落する。景気はそんなに悪くないのに50bpの利下げをする必要があるのかの質問については明確な答を避け、「今後3週間での経済指標による」としたものの、米金利が低下する中、ドル円は上値を抑えられ108.40まで下落する。NY午後発表のFOMC議事録では「リスク上昇により、多くのメンバーがより強い利下げの根拠を認識したことが明らかになり、108.35まで下落し、108.47レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルもパウエル議長の議会証言を控え、1.1202～29でのレンジ推移が続き、1.1214レベルでNYオープン。NY朝方はパウエル議長の事前原稿を受けたドル売りに1.1255まで戻す。その後パウエル議長の議会証言を受けたドル売りに1.1264まで上昇する。終盤に掛けてはイベント通過から狭いレンジでの推移が続き、1.1250レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・田家